

学校教育目標

思いやりのある子  
すすんで学習する子  
仕事をやりぬく子  
体をきたえる子

- ・日本国憲法・教育基本法
- ・小学校学習指導要領・学校図書館法
- ・江戸川区立小・中学校「読書科」の考え方
- ・これからの学校図書館の整備充実について

すすんで本を読み、学年読書目標を達成している児童が多い。調べ学習で図書館を利用しているが、学習内容や利用方法に偏りが見られる。

学校図書館の目標

自ら学ぶ意欲と態度を育て、生涯学習の基礎を培い、豊かな人間性を育む。

ねらい

- ① 児童の読書意欲を高め、豊かな心情と幅広い知識を身につける。
- ② 学校図書館の機能を理解させる指導を充実し、図書館利用の技能を高める。
- ③ 多様な資料から目的に応じた情報を選び、課題解決を図る力を育成する。

指導の重点

- ① 本校ならではの読書活動計画を立て、学校図書館の活用を推進する。
- ② 学校図書館を活用した教科等の学習の充実と情報活用能力の育成を図る。
- ③ 各教科との関連を図り、資料の充実を図り、多様な学びに対応する。

各学年の重点目標

第一学年	・本に興味をもち、読み物を楽しんで読もうとする。 ・図書館に親しんで利用できる。	第二学年	・様々な種類の本を楽しんで読もうとする。 ・すすんで図書館を利用して調べようとする。	第五学年	・読書を通して知識を増やし、考えを広める。 ・目的に応じて図書館を適切に利用する。
第二学年	・様々な読み物をすすんで読もうとする。 ・図書館の基本的な利用方法を理解し、正しく利用できる。	第四学年	・読書の幅を広げ、すすんで読み、読書量を増やす。 ・調べ学習を楽しみ、資料や情報を集めて活用する。	第六学年	・適切な本を選んで読む習慣をつけ、考えを深める。 ・計画的に図書館を利用し課題解決能力を高める。

具体的な取り組み

〔各教科〕

- 目的に応じた読書方法や態度を育てる。
- 図書館機能を活用し、課題解決学習、調べ学習、個別指導やグループ学習の場とする。
- 情報の収集、処理等、情報活用能力を養う。

〔読書科〕

- 「学年読書目標」「読書紹介」等による読書の推進、習慣化をめざす。
- 探求的活動を行い、図書を活用する能力を育むとともに、読書の質の向上を図る。

〔総合的な学習の時間〕

- 個々の課題の解決、探究に主体的に取り組む態度を育て、学び方を身に付けさせる。
- 系統的に情報活用能力を育成する。

〔特別活動〕

- 図書委員会を中心に、自発的・自治的に図書館を運営し、読書活動を展開する。
- 特別活動の中で図書館と連携して活動する。

〔道徳〕

- 図書資料を通して、様々な生き方や考え方に接する中で、自分を深め、道徳的心情を培う。

〔家庭・地域との連携〕

- 読み聞かせボランティアや公立図書館と連携。
- 読書活動だよりを発行し家庭への啓発を図る。

朝読書の推進

推進組織の確立・充実

図書館経営評価の実施

図書環境の整備・充実